

令和元年度

小牧市民病院改革プラン
(平成29年度～令和2年度版)
決算比較

令和2年11月
小牧市

目 次

- 1 改革プランと令和元年度決算比較 ……………P 1
- 2 経営の効率化に対する取り組みの目標値と令和元年度決算比較 ……P 2
- 3 改革プランと令和元年度決算との比較 ……………P 7
- 4 令和元年度決算と前年度決算との比較 ……………P 8
- 5 患者数等対目標値年度比較表 ……………P 9
- 6 財務指標等対目標値年度比較表 ……………P10
- 7 年度別経営指標 ……………P11

1 小牧市民病院改革プランと令和元年度決算比較

令和元年度は、5月1日に新病院を開院し、新規にハイブリッド型手術室、手術支援ロボット、PET-CT^{※1}などを導入して活用を進め、高次医療を提供するための様々な施設・設備面の充実と患者さんの療養環境の改善を図りました。そして、高次医療病院として救急医療やがん診療など地域において提供されることが必要な医療に積極的に取り組み、地域の医療機関との連携を図りながら、安定的かつ効率的な病院運営に努めてまいりました。

新病院開院前後の診療制限や年度末での新型コロナウイルス感染症の影響などもあり、改革プランに掲げた「経営の効率化に対する取り組みと数値目標」に係る収入増加・確保対策の取り組みについて、入院に関しては、収益・患者数、病床利用率、平均在院日数ともに目標値に届かなかったものの、一人当たりの入院診療収入の増加を図ることができました。一方、外来に関しても、患者数が目標値に届かなかったものの、一人当たりの外来診療収入が増加し、収益は増加しました。

今後は、新型コロナウイルス感染症の影響がいつまで続くのか不透明ではありますが、新病院の機能を最大限に活用しつつ、良質な医療を継続して提供するなど医療の質の向上を図るとともに、経営の効率化に積極的に取り組み、地域の皆様の期待に応えられる病院に成長できるように努め、尾張北部医療圏の中核病院として一層の努力を重ねてまいります。

※1：陽電子放出断層撮影装置

2 経営の効率化に対する取り組みの目標値と令和元年度決算比較

小牧市民病院改革プランでは、主要な経営指標（経常収支比率、経常損益額、職員給与費対医業収益比率、病床利用率、平均在院日数など）について数値目標を掲げました。

令和元年度の目標値と決算との比較は下記の表のとおりです。

◇収入増加・確保対策

ア 病床利用率の向上と平均在院日数の短縮について

○入院収益の目標値比較 (単位：百万円)

年 度	令和元年度 計 画 ①	令和元年度 決 算 ②	平成30年度 決 算	②/①
入 院 収 益	12,193	12,023	11,678	98.6%

○入院患者数の目標値比較 (単位：人)

年 度	令和元年度 計 画 ①	令和元年度 決 算 ②	平成30年度 決 算	②/①
入 院 患 者 数	170,500	165,626	162,763	97.1%
1 日 平 均 患 者 数	466	453	446	

○病床利用率の目標値比較 (単位：%)

年 度	令和元年度 計 画 ①	令和元年度 決 算 ②	平成30年度 決 算	②/①
病 床 利 用 率	82.0	79.4	73.0	96.8%

○平均在院日数の目標値比較 (単位：日)

年 度	令和元年度 計 画 ①	令和元年度 決 算 ②	平成30年度 決 算	②/①
平 均 在 院 日 数	10.8	11.2	10.6	103.7%

○病床利用率の向上と平均在院日数の短縮の分析について

これまでと同様に、クリニカルパス^{※2}による医療の標準化や入退院支援の充実など、入院から退院までの療養計画を効率かつ効果的に行い、医療の質を落とすことなく病床管理対策を行ってきました。

しかしながら、平均在院日数が比較的長い整形外科や血液内科などの患者が増加した影響で平均在院日数が延長され、平成30年度決算比及び令和元年度計画比共に下回る結果となりました。また、病床利用率においては、令和元年度下半期では82.3%と目標値を上回ったものの、新病院開院前後の診療制限の影響が大きく、小牧市民病院改革プランとの比較では目標値を下回

りました。

※2：医療提供を効率的に行うための工程管理手法

イ 外来患者数について

○外来収益の目標値比較

(単位：百万円)

年 度	令和元年度 計 画 ①	令和元年度 決 算 ②	平成30年度 決 算	②/①
外 来 収 益	6,475	6,570	6,500	101.5%

○外来患者数の目標値比較

(単位：人)

年 度	令和元年度 計 画 ①	令和元年度 決 算 ②	平成30年度 決 算	②/①
外 来 患 者 数	300,000	295,292	311,412	98.4%
1日平均患者数	1,250	1,230	1,276	

○外来患者数の分析について

治療の標準化と病床の有効活用の観点から、入院検査、術前・術後の検査など外来で行うことができる検査は外来で行うように徹底し、また、紹介患者の円滑な受け入れ体制を整えるため、症状が安定した患者を地域のかかりつけ医へ積極的に逆紹介し、当院での治療が必要な患者を積極的に受け入れました。さらには、新病院における PET-CT の導入や化学療法室の増床など、地域の中で当院が果たすべき役割を強化しつつ、集患のための取組みを進めました。

その結果、外来患者1人当たりの診療収入は増加し、外来収益は目標値を上回りました。しかしながら、新病院開院前後の診療制限や救急外来患者数の減少、その救急外来受診後のフォロー受診を多く扱う総合内科の患者数の減少、更には、令和元年度の平日日数は240日と前年度より4日減少したことなどから、外来患者数が目標値を下回りました。

ウ 診療報酬請求について

診療報酬請求の精度向上のため、医師や看護師、事務職員、委託職員を対象とした診療報酬請求に関する講習会を実施しました。

エ 未収金対策について

電話による速やかな催告を積極的に行い、発生段階での対応に取り組みました。また、過年度分の未収金につきましては、平成29年度より弁護士委託を行っており、継続して未収金の回収に努めました。

◇経費削減・抑制対策

オ 委託費の見直しについて

委託契約については、委託業務内容を十分検討し、仕様の見直しや価格交渉に取り組みました。しかし、新病院は旧病院より規模が増加したことや医療機器保守等の増加要因もあり、委託費全体では増額となりました。

カ 薬品の見直しについて

薬剤部を中心に、後発医薬品の採用を拡大するとともに、納入業者との単価交渉等に取り組みました。しかし、血液内科や呼吸器内科などにおいて高額な薬剤を用いる患者が増加し、全体の薬剤費は増額となりました。

キ 診療材料の見直しについて

管財課を中心に、材料価格について納入業者との単価交渉や、使用材料の見直しなどに取り組みました。しかし、一方でアブレーションやステント治療など、循環器内科の手術における高額材料が増加したため、全体の診療材料費は増額となりました。

材料費の内訳

(単位：百万円)

項目	平成30年度	対医業収益 比率	令和元年度	対医業収益 比率
材料費	5,604	29.5%	6,062	31.2%
うち薬品費	3,523	18.6%	3,717	19.1%
うち材料費	2,077	11.0%	2,322	12.0%

ク 備品等の見直しについて

多職種で構成した購入等物品機種選定委員会により、医療機器の選定を行いました。購入単価については個別に調査・検討し、納入業者との交渉に取り組みました。

ケ リース料の見直しについて

令和元年度にリース満了となる機器について機器更新を延期し、再リースを行い、経費の削減を図りました。

コ エネルギーサービス事業の実施について

平成28年度より準備を進めてきたエネルギーサービス事業については、令和元年5月に新病院を開院して、専門事業者による効率的なエネルギー供給により、省エネルギー対策やランニングコストの削減に努めました。

◇財務全般に係る目標数値比較

	項 目	令和元年度 計 画 ①	令和元年度 決 算 ②	平成30年度 決 算	②/①
(1)	経常収支比率 (%)	95.6	91.8	97.2	96.0%
(2)	医業収支比率 (%)	92.4	88.7	98.7	96.0%
(3)	職員給与費対医業 収益比率 (%)	47.9	50.0	49.8	104.4%
(4)	資金不足比率 (%)	0.0	0.0	0.0	—
(5)	入院患者一人1日 当たりの診療収入 (円)	71,500	72,592	71,748	101.5%
(6)	外来患者一人1日 当たりの診療収入 (円)	21,600	22,249	20,873	103.0%

◇医療機能（5疾病5事業等）に係る目標数値比較

	項 目	令和元年度 計 画 ①	令和元年度 決 算 ②	平成30年度 決 算	②/①
5 疾 病	が ん (人)	3,500	3,189	3,491	91.1%
	脳 卒 中 (人)	700	515	548	73.6%
	急性心筋梗塞 (人)	200	148	154	74.0%
	糖 尿 病 (人)	110	72	78	65.5%
	精 神 疾 患 (人)	35	15	17	42.9%
5 事 業	救 急 医 療 (人)	25,000	21,284	24,309	85.1%
	周 産 期 医 療 (件)	350	363	344	103.7%
	小 児 医 療 (人)	8,000	7,012	7,679	87.7%
	災 害 医 療 (件)	—	—	—	—
	へ き 地 医 療 (件)	—	—	—	—
	臨床研修医の受入数 (人)	24	22	21	91.7%
	患者満足度 (入院) (%)	87.0	80.5	84.9	92.5%
	患者満足度 (外来) (%)	78.0	78.5	78.7	100.6%

※5疾病は、がん（大腸、胃、肝、乳、肺など）、脳卒中（脳梗塞、脳出血、くも膜下など）、急性心筋梗塞、糖尿病、精神疾病の延べ入院患者数を表示してあります。

※5事業は、救急医療（救急外来患者数）、周産期医療（分娩数）、小児医療（小児科入院数）、災害医療、へき地医療の件数を表示してあります。

※臨床研修医の受入数は、研修医1年生と2年生の受入人数です。

※患者満足度は、満足、やや満足を足した数字です。

◇収支計画に係る目標数値比較 (上段：目標値、下段：決算額)

(単位：百万円)

		平成30年度	令和元年度
収益	医業収益	19,706	19,577
		18,967	19,424
	医業外収益	934	1,825
		903	1,748
	経常収益(A)	20,640	21,402
		19,870	21,172
費用	医業費用	19,317	21,181
		19,209	21,904
	医業外費用	1,301	1,217
		1,240	1,169
	経常費用(B)	20,618	22,398
		20,449	23,073
経常損益(A)－(B) (C)		22	△996
		△579	△1,901
経常収支比率(%) (A)/(B)		100.1	95.6
		97.2	91.8
特別損益	特別利益(D)	411	42
		390	550
	特別損失(E)	4,297	1,209
		4,475	988
特別損益(D)－(E) (F)		△3,886	△1,167
		△4,085	△438
純損益 (C)+(F)		△3,864	△2,163
		△4,664	△2,339
資本的収入		16,843	3,255
		16,682	3,338
資本的支出		22,039	5,336
		22,113	5,156
資本的収支差引額		△5,196	△2,081
		△5,431	△1,818

3. 改革プランと令和元年度決算との比較

1. 収支計画（収益的収支）

(単位:百万円)

区分	年度	元年度 新改革プラン 計画①	元年度 決算②	②/①
収 入	1. 医 業 収 益 a	19,577	19,424	99.2%
	(1) 料 金 収 入	18,668	18,593	99.6%
	入 院 収 益	12,193	12,023	98.6%
	外 来 収 益	6,475	6,570	101.5%
	(2) そ の 他	909	831	91.4%
	うち他会計負担金	139	139	100.0%
	2. 医 業 外 収 益	1,825	1,748	95.8%
	(1) 他会計負担金・補助金	670	620	92.5%
	(2) 国（県）補助金	23	28	121.7%
	(3) 長期前受金戻入	953	940	98.6%
(4) そ の 他	179	160	89.4%	
経 常 収 益 (A)	21,402	21,172	98.9%	
支 出	1. 医 業 費 用 b	21,181	21,904	103.4%
	(1) 職 員 給 与 費 c	9,372	9,707	103.6%
	(2) 材 料 費	5,579	6,062	108.7%
	(3) 経 費	3,781	3,575	94.6%
	(4) 減 価 償 却 費	2,374	2,293	96.6%
	(5) そ の 他	75	267	356.0%
	2. 医 業 外 費 用	1,217	1,169	96.1%
	(1) 支 払 利 息	144	114	79.2%
	(2) 保 育 費	74	74	100.0%
	(3) そ の 他	999	981	98.2%
経 常 費 用 (B)	22,398	23,073	103.0%	
経 常 損 益 (A)-(B) (C)	△ 996	△ 1,901	190.9%	
特 別 損 益	1. 特 別 利 益 (D)	42	550	1309.5%
	2. 特 別 損 失 (E)	1,209	988	81.7%
	特 別 損 益 (D)-(E) (F)	△ 1,167	△ 438	37.5%
純 損 益 (C)+(F)	△ 2,163	△ 2,339	108.1%	
累 積 欠 損 金 (G)	0	0	-	
不 良 債 務	流 動 資 産 (ア)	17,324	16,755	96.7%
	流 動 負 債 (イ)	3,470	3,406	98.2%
	うち一時借入金			-
	翌年度繰越財源(ウ)			-
差 引	当年度同意等債で未借入 又は未発行の額 (エ)			-
	不 良 債 務 (オ) [(イ)-(エ)] - [(ア)-(ウ)]	△ 13,854	△ 13,349	96.4%
単 年 度 資 金 不 足 額	0	0	-	
経 常 収 支 比 率 $\frac{(A)}{(B)} \times 100$	95.6%	91.8%	96.0%	
不 良 債 務 比 率 $\frac{(オ)}{a} \times 100$	0.0%	0.0%	-	
医 業 収 支 比 率 $\frac{a}{b} \times 100$	92.4%	88.7%	96.0%	
職 員 給 与 費 対 医 業 収 益 比 率 $\frac{c}{a} \times 100$	47.9%	50.0%	104.4%	
病 床 利 用 率	82.0%	79.4%	96.8%	

2. 収支計画（資本的収支）

(単位:百万円)

区分	年度	元年度 新改革プラン 計画①	元年度 決算②	②/①
収 入	1. 企 業 債	2,000	2,000	100.0%
	2. 他 会 計 出 資 金			-
	3. 他 会 計 負 担 金	1,255	1,329	105.9%
	4. 他 会 計 借 入 金			-
	5. 他 会 計 補 助 金			-
	6. 国（県）補助金			-
	7. そ の 他		9	皆増
	収 入 計 (a)	3,255	3,338	102.5%
	うち翌年度へ繰り越される 支出の財源充当額 (b)			-
	前年度同意債で当年度借入分 (c)			-
純計(a)-[(b)+(c)] (A)	3,255	3,338	102.5%	
支 出	1. 建 設 改 良 費	4,064	3,414	84.0%
	2. 企 業 債 償 還 金	1,077	1,077	100.0%
	3. 他 会 計 長 期 借 入 金 返 還 金			-
	4. そ の 他	195	665	341.0%
支 出 計 (B)	5,336	5,156	96.6%	
差 引 不 足 額 (B)-(A) (C)	2,081	1,818	87.4%	
補 て ん 財 源	1. 損 益 勘 定 留 保 資 金	922	1,007	109.2%
	2. 利 益 剰 余 金			-
	3. 減 債 積 立 金	474	474	100.0%
	4. 建 設 改 良 積 立 金	583	480	82.3%
	5. そ の 他	102	69	67.6%
計 (D)	2,081	2,030	97.5%	
補てん財源不足額 (C)-(D) (E)	0	△ 212	-	
当 年 度 同 意 等 債 で 未 借 入 又 は 未 発 行 の 額 (F)			-	
実 質 財 源 不 足 額 (E)-(F)	0	△ 212	-	

3. 一般会計からの繰入金

(単位:千円)

区分	年度	元年度 新改革プラン 計画①	元年度 決算②	②/①
収 益 的 収 支		832,000	758,927	91.2%
資 本 的 収 支		1,255,000	1,328,650	105.9%
合 計		2,087,000	2,087,577	100.0%

4. 令和元年度決算と前年度決算との比較

1. 収益的収支決算比較

(単位:百万円、%)

区分	年度	年度			
		30年度 決算①	元年度 決算②	②-①	②/①
収入	1. 医業収益 a	18,967	19,424	457	102.4%
	(1) 料 金 収 入	18,178	18,593	415	102.3%
	入 院 収 益	11,678	12,023	345	103.0%
	外 来 収 益	6,500	6,570	70	101.1%
	(2) そ の 他	789	831	42	105.3%
	うち他会計負担金	150	139	△ 11	92.7%
	2. 医業外収益	903	1,748	845	193.6%
	(1) 他会計負担金・補助金	583	620	37	106.3%
	(2) 国(県)補助金	27	28	1	103.7%
	(3) 長期前受金戻入	130	940	810	723.1%
(4) そ の 他	163	160	△ 3	98.2%	
経常収益(A)	19,870	21,172	1,302	106.6%	
支出	1. 医業費用 b	19,209	21,904	2,695	114.0%
	(1) 職員給与費 c	9,444	9,707	263	102.8%
	(2) 材 料 費	5,604	6,062	458	108.2%
	(3) 経 費	3,119	3,575	456	114.6%
	(4) 減価償却費	963	2,293	1,330	238.1%
	(5) そ の 他	79	267	188	338.0%
	2. 医業外費用	1,240	1,169	△ 71	94.3%
	(1) 支払利息	75	114	39	152.0%
	(2) 保 育 費	74	74	0	100.0%
	(3) そ の 他	1,091	981	△ 110	89.9%
経常費用(B)	20,449	23,073	2,624	112.8%	
経常損益(A)-(B)(C)	△ 579	△ 1,901	△ 1,322	328.3%	
特別損益	1. 特別利益(D)	390	550	160	141.0%
	2. 特別損失(E)	4,475	988	△ 3,487	22.1%
	特別損益(D)-(E)(F)	△ 4,085	△ 438	3,647	10.7%
純 損 益 (C)+(F)	△ 4,664	△ 2,339	2,325	50.2%	
累 積 欠 損 金 (G)	0	0	0	-	
不良債務	流 動 資 産 (7)	25,439	16,755	△ 8,684	65.9%
	流 動 負 債 (7)	8,977	3,406	△ 5,571	37.9%
	うち一時借入金				-
	翌年度繰越財源(ウ)				-
	当年度同意等債で未借入 又は未発行の額(エ)				-
	不良債務(オ)	△ 16,462	△ 13,349	3,113	81.1%
	差引 [(イ)-(エ)]-[(ア)-(ウ)]				
	単年度資金不足額	0	0	0	-
	経常収支比率 $\frac{(A)}{(B)} \times 100$	97.2%	91.8%	-	94.4%
	不良債務比率 $\frac{(オ)}{a} \times 100$	0.0%	0.0%	-	-
医業収支比率 $\frac{a}{b} \times 100$	98.7%	88.7%	-	89.9%	
職員給与費対医業収益比率 $\frac{c}{a} \times 100$	49.8%	50.0%	-	100.4%	
病 床 利 用 率	73.0%	79.4%	-	108.8%	

2. 資本的収支決算比較

(単位:百万円、%)

区分	年度	年度			
		30年度 決算①	元年度 決算②	②-①	②/①
収入	1. 企 業 債	13,050	2,000	△ 11,050	15.3%
	2. 他 会 計 出 資 金				-
	3. 他 会 計 負 担 金	3,578	1,329	△ 2,249	37.1%
	4. 他 会 計 借 入 金				-
	5. 他 会 計 補 助 金				-
	6. 国(県)補助金	45		△ 45	皆減
	7. そ の 他	9	9	0	100.0%
	収 入 計 (a)	16,682	3,338	△ 13,344	20.0%
	うち翌年度へ繰り越される 支出の財源充当額(b)				-
	前年度同意債で当年度借入分(c)				-
純計(a)-[(b)+(c)](A)	16,682	3,338	△ 13,344	20.0%	
支出	1. 建 設 改 良 費	21,652	3,414	△ 18,238	15.8%
	2. 企 業 債 償 還 金	246	1,077	831	437.8%
	3. 他 会 計 長 期 借 入 金 返 還 金				-
	4. そ の 他	215	665	450	309.3%
	支 出 計 (B)	22,113	5,156	△ 16,957	23.3%
差引不足額(B)-(A)(C)	5,431	1,818	△ 3,613	33.5%	
補てん財源	1. 損益勘定留保資金	428	1,007	579	235.3%
	2. 利 益 剰 余 金				-
	3. 減 債 積 立 金	82	474	392	578.0%
	4. 建 設 改 良 積 立 金	4,901	480	△ 4,421	9.8%
	5. そ の 他	20	69	49	345.0%
計(D)	5,431	2,030	△ 3,401	37.4%	
補てん財源不足額(C)-(D)(E)	0	△ 212	△ 212	-	
当年度同意等債で未借入 又は未発行の額(F)				-	
実質財源不足額(E)-(F)	0	△ 212	△ 212	-	

3. 一般会計からの繰入金比較

(単位:千円)

区分	年度	年度			
		30年度 決算①	元年度 決算②	②-①	②/①
収 益 的 収 支		732,906	758,927	26,021	103.6%
資 本 的 収 支		3,577,549	1,328,650	△ 2,248,899	37.1%
合 計		4,310,455	2,087,577	△ 2,222,878	48.4%

5. 患者数等対目標値年度比較表(総括)

(上段:目標値、下段:決算値)

◇入院患者数の目標値比較

(単位:人)

項目	平成29年度	平成30年度	令和元年度
入院患者数	178,000	171,500	170,500
	172,681	162,763	165,626
1日平均患者数	488	470	466
	473	446	453

◇病床利用率の比較

(単位:%)

項目	平成29年度	平成30年度	令和元年度
病床利用率	80.3	77.1	82.0
	77.7	73.0	79.4

◇平均在院日数の比較

(単位:日)

項目	平成29年度	平成30年度	令和元年度
平均在院日数	11.4	10.9	10.8
	10.9	10.6	11.2

◇外来患者数の目標値比較

(単位:人)

項目	平成29年度	平成30年度	令和元年度
外来患者数	329,400	317,200	300,000
	320,476	311,412	295,292
1日平均患者数	1,350	1,300	1,250
	1,313	1,276	1,230

6. 財務指標等対目標値年度比較表(総括)

(上段: 目標値、下段: 決算値)

◇財務全般に係る指標対目標値年度比較

項目	平成29年度	平成30年度	令和元年度
(1) 経常収支比率(%)	102.5	100.1	95.6
	100.2	97.2	91.8
(2) 医業収支比率(%)	101.9	102.0	92.4
	100.0	98.7	88.7
(3) 職員給与費対医業収益比率(%)	46.9	47.6	47.9
	48.7	49.8	50.0
(4) 資金不足比率(%)	0.0	0.0	0.0
	0.0	0.0	0.0
(5) 入院患者一人1日当たりの診療収入(円)	67,500	71,500	71,500
	68,688	71,748	72,592
(6) 外来患者一人1日当たりの診療収入(円)	20,500	21,000	21,600
	20,193	20,873	22,249

◇医療機能(5疾病5事業等)に係る目標数値比較

項目	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
5疾病	がん(人)	3,700	3,500	3,500
		3,346	3,491	3,189
	脳卒中(人)	600	700	700
		580	548	515
	急性心筋梗塞(人)	200	200	200
		152	154	148
糖尿病(人)	100	110	110	
	98	78	72	
精神疾患(人)	10	35	35	
	18	17	15	
5事業	救急医療(人)	27,000	24,000	25,000
		25,414	24,309	21,284
	周産期医療(件)	420	350	350
		295	344	363
	小児医療(人)	7,200	8,000	8,000
		7,423	7,679	7,012
災害医療(件)	—	—	—	
	—	—	—	
へき地医療(件)	—	—	—	
	—	—	—	
臨床研修医の受入人数(人)	23	23	24	
	22	21	22	

- 5疾病は、がん(大腸、胃、肝、乳、肺など)、脳卒中(脳梗塞、脳出血、くも膜下など)、急性心筋梗塞、糖尿病、精神疾病の延べ入院患者数を表示しています。
- 5事業は、救急医療(救急外来患者数)、周産期医療(分娩数)、小児医療(小児科入院数)、災害医療、へき地医療の件数を表示しています。
- 臨床研修医の受入数は、研修医1年生と2年生の受入人数です。

7. 年度別経営指標

項 目		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	経営指標
(1)	経常収支比率 (%)	104.1	102.2	100.2	97.2	91.8	102.2
(2)	医業収支比率 (%)	104.1	101.9	100.0	98.7	88.7	93.3
(3)	他会計繰入金対医業収益比率 (%)	3.2	3.2	3.3	3.9	3.9	12.6
(4)	職員給与費対医業収益比率 (%)	44.5	48.7	49.3	49.8	50.0	52.0
(5)	病床利用率 (%)	81.2	79.7	77.7	73.0	79.4	82.3
(6)	平均在院日数 (日)	11.3	11.0	10.9	10.6	11.2	-
(7)	患者紹介率 (%)	52.7	65.8	68.1	64.9	67.2	-
(8)	一日平均患者数						
	入院(人)	493.0	485.6	473.1	445.9	452.5	490.0
	外来(人)	1,492.4	1,389.3	1,313.4	1,276.3	1,230.4	1,171.0
(9)	患者一人1日当たり診療収入						
	入院(円)	66,444	67,393	68,688	71,748	72,592	65,955
	外来(円)	19,401	19,402	20,193	20,873	22,249	18,593
(10)	職員一人1日当たり診療収入						
	医師(円)	293,711	296,248	291,292	292,527	288,646	304,069
	看護部門(円)	77,606	73,295	72,728	74,114	77,203	74,381
(11)	病床100床当たり職員数						
	医師(人)	31.7	30.0	30.7	29.9	34.4	24.2
	看護部門(人)	120.7	124.0	123.3	120.1	127.8	101.8
	全体(人)	196.0	200.1	200.9	197.7	215.3	167.9

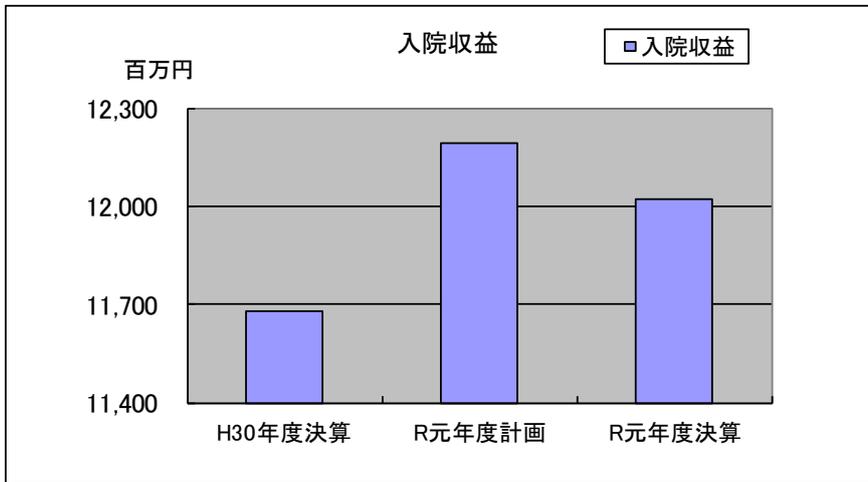
(注) 経営指標は平成30年度地方公営企業年鑑の500床以上の黒字病院のみの規模を記載

(注) 平成30年度地方公営企業年鑑の500床以上の対象病院は、黒字病院数37、赤字病院数40、合計77病院

年 度 別 収 益 患 者 数 比 較

項 目	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度
(1) 入院収益 (千円)	11,989,304	11,943,825	11,861,082	11,677,910	12,023,171
(2) 外来収益 (千円)	7,035,810	6,550,044	6,471,372	6,500,018	6,569,969
(3) 入院患者数 (人)	180,441	177,226	172,681	162,763	165,626
(4) 外来患者数 (人)	362,656	337,605	320,476	311,412	295,292
平 日 日 数 (日)	243	243	244	244	240

	H30年度決算	R元年度計画	R元年度決算
入院収益	11,678	12,193	12,023



	H30年度決算	R元年度計画	R元年度決算
外来収益	6,500	6,475	6,570

